

災害ボランティアセンター設置・運営・支援のご報告 & お力添えいただいたすべての皆さまへ

(福)沼津市社会福祉協議会では、令和6年6月18日(火)の大雨災害を受け、翌日の6月19日(水)に「沼津市災害ボランティアセンター」を設置し、被災された方々への支援と困りごとの相談を行いました。昨年度の大雨では原・浮島地区が被災地域となりましたが、今年度は大平・志下地区が大きな被害を受けました。

9月14日(水)の活動をもって、沼津市災害ボランティアセンターにご相談いただいていた全ての困りごとの支援78件が完了し、延べ600名以上のボランティアの皆さまにご協力いただきました。



活動の主な内容は、家の中の片付け、掃除、家財やゴミの搬出の他、専門的な技術を要する床下に溜まった水の排水や乾燥等の依頼もあり、これまで全国各地の災害現場で活動されてきた技術系災害ボランティアの皆さまにもご協力いただきました。また、今回は一般の災害ボランティアの中で技術系のサポートボランティアを募集し、手を挙げてくださった方には技術を必要とする現場で作業に必要な器具の受け渡しや排水の手伝い等、技術系の災害ボランティアと共に活躍いただきました。



赤い羽根共同募金、チャリティーバザーの浄財、賛助会費・一般会費、寄付金の一部が災害支援（災害ボランティアセンターの運営・資機材の整備等）に活用されました

県内企業や団体の皆さま、他市町社協の皆さまには、ボランティア活動に必要なマンパワーの提供や物資の呼びかけに多数お応えいただきました。

赤い羽根共同募金の浄財より災害ボランティアセンターの運営や活動の一部に充てるための支援金を助成していただきました。さらには、毎年開催しているチャリティーバザーの浄財を災害対策のために積み立てている資金の他、沼津市民が地域の福祉に関心を寄せ、ご協力いただいている賛助会費や住民会費である一般会費の一部をこの災害支援のためにも活用させていただきました。日ごろよりの皆さまのお気持ちに誠に感謝申し上げます。



活動をしている中で、「がんばろう！」「大丈夫！」と心を寄せてくださる方、「ありがとう」「ごくろうさま」とお声を掛けてくださる方、ご自宅の復旧と同時にほっとした安堵の表情を浮かべる方・・・多くの皆さまからのあたたかい応援や優しい笑顔にたくさん助けられました。

無事に支援を遂げられたのも、ひとえに多方面よりご支援・ご協力くださった皆さまのお力添えのおかげです。今回できた皆さまとの絆を大切にしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



技術系災害ボランティアとは

床下の泥の洗浄、溜まった水の排水、乾燥等を行う際に、家を傷つけないように床板を剥がしたり、断熱材を取り除いたりする等、専門的な知識や技術を持って活動するボランティアです。

令和6年6月の大雨災害では、「しぞ〜か・まめつ隊」「河津桜ボランティアセンター」の皆さまを中心に支援いただきました。



技術系サポートボランティアとは

技術系の作業が必要なお宅に技術系ボランティアとともに伺い、床上・床下で作業するための準備や器具の受け渡し、排水の手伝いなど、技術系ボランティアが作業しやすいようにサポートするボランティアです。



災害ボランティアセンターの活動に必要な資材、寄付金等にご協力いただいた皆さまを紹介します

【活動資材・消耗品のご協力】 沼津ライオンズクラブ様 沼津香陵ライオンズクラブ様
相模原中央ライオンズクラブ様 ライオンズクラブ中部様 Vネット様

ライオンズクラブ国際協会 334 複合地区様 愛鷹ラグビーフットボールクラブ様 住まい工房とうくり様
特別養護老人ホーム さつき園様 沼津市福祉企画課様 沼津市危機管理課様 匿名4件

【活動資金のご協力】 はままつ na net様 静岡県共同募金委員会様 匿名1件

【マンパワーのご協力】 しぞ〜か・まめつ隊様 河津桜災害ボランティアセンター様 しずおか茶の国会議様
みんなの居場所「ふらっと」ボランティア様 VCはまゆう様 アスルクラロ沼津様 沼津青年会議所様 SeRV様
DRT SHIZUOKA様 習志野災害ネットワーク様 静岡県社会福祉協議会様 裾野市社会福祉協議会様
長泉町社会福祉協議会様 清水町社会福祉協議会様 熱海市社会福祉協議会様 富士市社会福祉協議会様
伊豆の国市社会福祉協議会様 西伊豆町社会福祉協議会様 下田市社会福祉協議会様
藤枝市社会福祉協議会様 一般災害ボランティアほか多数の皆さま

(順不同)



災害は、誰に・いつ降りかかるのか全く想定できません。そして実際に被災した場合、多くの人は自分の力だけで元の生活を取り戻すことが難しく、地域の人やボランティアなど多くの人の助けを得て初めて復旧に向けて進むことができます。沼津市社会福祉協議会は「ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくり」を目標に、「誰もが・いつでも・助けを求めること」が自然とできるような地域社会を目指して、皆さまと共に邁進してまいりますので、引き続き皆さまのお力添えいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。